

<http://videoner-biznet.net/>

ビデオナービズネット(日本映像製作者協会)とは個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

📷 6月定例会のご案内

各会員の映像による「映写会」

6月恒例の映写会です。映像のテーマは自由です。メディアはDVDまたはBDをお願いします。15時30分スタートとなりますが、途中から参加もOKです。(ただしその旨、ご一報願います)。当日の参加人数に応じて映写時間を決定致します。お互いの作品を見せ合って、実力向上を図りましょう。個人で仕事をしている会員にとって、貴重な機会ではないでしょうか。

日時 2018年6月12日(火)

15時30分～20時(予定)

場所 王子一丁目町会会館(2階)

〒121-0813 東京都北区王子1-17-1

京浜東北線「王子駅」北口より徒歩4分

東京メトロ南有楽町線「王子駅」より徒歩3分

場所がわかりづらいので、当日の連絡先です。

高橋(090-7005-8981)、近藤(090-4713-3665)



👥 5月定例会のご報告

近藤さんの「小学校の営業」続編

保護者に実際に納品したブルーレイを見ながら、近藤さんの撮影方法・編集方法の解説を聞きました。

どんな仕事であれ、「購入者が喜ぶ」映像が大事です。小学校の学芸会・音楽会の場合は「ここに注意して撮影すべき」との解説が大変参考になりました。

特に、音の収録について会員からの熱心な質問がありました。なお、8月に実地練習会も予定されています。他人の現場に入ってみると、新鮮な発見があったりして、何かと参考になることも多いものです。

ホール撮影実地練習会

8月25日(土)に小田原市民会館大ホールを使用して、ホール撮影の実地練習会を開催します。高橋さんの顧客の市民団体様のご協力をいただきまして、演劇あり和太鼓ありダンスありの公演のリハーサルにおじゃまします。



会員コラム

高橋さんから「西湘のビデオ屋稼業」
吉岡さんから「よっしーのお手伝い日記」
が続きます！

先日、撮影現場へ下見に行ってきた。隣街にあるショッピングモールなのだが、毎年社内での接客ロールプレイングコンテストがあり、その撮影を請けている。今年は、会場になっている自社ホールの音響設備が新しくなったというので、その確認だ。いつもピンマイク3本、スタンドマイク1~2本、それとたまにのBGMCD再生。

会場に着くとホールの係員がタブレットを片手にやってきた。「今回から各マイク等のコントロールはこのタブレットで行事担当者が行うことになります」との説明。そばにいた本番仕切りを行う担当者側は、そのタブレットなるものにややの拒絶感オーラ。で、「安全第一」の一計を案じた当方は、ステージ前に自前録音のオンマイクを立てることを了承していただいて早々と下見終了。(こういうときはやみくもに動けず)

ところで毎回撮影していて感じるのは、コンテストに出てくる競技者のレベル。各売り場の代表とはいえその真剣さには心に届いてくるものがある。スゴイ…。蛇足ですが。

数年前から今も続くお話し。顧客幼稚園の運動会を間近に控えた担当の先生から連絡が入った。その年は中々の天候不順であちこちの幼稚園・小中学校で運動会、体育大会の実施日が右往左往していた年で、その幼稚園さんも実施日の変更を余儀なくされていた。担当先生いわく「いつも利用している音響屋さんが今年は変更が重なって来られないとの事。ついては高橋さん何とかならないか?」、蒼白の言葉が耳に伝わってくる。開催場所は音響必須。「心配しないで!」と一肌脱ぐことに。高橋がたまたま所有していた簡易PAキットに幼稚園所有の機材を何とか組み合わせて(4スピーカー・3マイク・CDデッキ)、で無事に運動会は終了。もちろん高橋は撮影で忙しかったですが。

終えてから気になったのは、運動会は競技演目ごとに違う曲を流し、長引く競技にはリピート再生を行うなど、CDデッキによる音楽再生の煩雑さ。アドバイスとして、それまでは複数枚あったCDをとりあえずは再生曲順にした音楽CDを作ることを提案しながらも根本的な改善を模索した。「ポン出し」の機器を色々調べてみても中々今一つ。そこで、市内ホールで小屋の人に相談したところ「そんなの簡単だよ!」っていわれた方法が、持ち運び自由なノートPCを使い、iTunesで作ったプレイリストから再生するという手。プレイリストには任意の項目(競技名・クラス名等々)も付加できるため、出来上がったプレイリストは一目瞭然で、瞬時に再生・リピートもお手の物。以後、その幼稚園さんの必須アイテムになり、毎年その都度のプレイリストを作り続けて来ている。

ちなみにくだんのホールの人に結果報告したら、いわく、「それどころか今どきの大学生は、とっくにスマホから曲をバンバン出しながらイベントやってるよ!!」とき。

PC、タブレット、スマホ、+アプリますます大隆盛、の時代。「上手に馴染んでいくしかない」だけではまだまだ踏み込みが足りないか? ?

●あれば便利なもの発見「レーザー距離計」

たまたま家電量販店で目にしたNikon製品。計測器としては以前からあって、特別めずらしいものではなさそう。例えば、ホールや体育館で「音声ケーブル何m必要かな?」という時にもすぐ答えが出てくる感じでした。※しばらくいじくり回していた。他社類似品も数あるとの事でした。

よっしーのお手伝い日記 (2)

アソシネット株式会社 吉岡

デジタル工房こまち、古民家演奏会

菅澤さん(デジタル工房こまち)が吹奏楽でお世話になっている先生から、古民家で開催する演奏会に誘われたとのこと。仕事の撮影ではないらしい。

菅澤さんは、狭い古民家で照明や音響の十分でない難しい撮影に挑戦しようと考えているらしく、私に声がかかった。

古民家でトランペットとピアノの共演をすると聞いたが、全く想像ができない(笑)

メインになるビデオカメラ 1 台、予備に小型カメラ 1 台を用意。映像に関しては、菅澤さんが段取りを考える。

音声は、マイク 4 本と IC レコーダー 2 台を持っていく。音の収録は私が主導する。

2018 年 3 月 24 日 埼玉県ときがわ町

11:00 ときがわ町の役場で菅澤さんと合流。荷物を積みかえ、菅澤さんの車で現地へ行くことに。縁側もある立派な古民家だった。すぐ近くには川が(溪流という感じの)流れる。

8 畳×3 くらいの広さ。

奥にアップライト・ピアノが置いてあり、座敷にお客さん用の椅子が 30 脚ほど置いてある。

演奏するトランペットの前と、ピアノの横にマイクを設置。演者に邪魔にならないような位置でなるべく近づけて録ることに。

「オンマイクが基本」は以前 会員だった故・松本さんの教え。何てことはない言葉なのだが、マイキングをするときは不思議と口に出てくる。

IC レコーダーには、リミッターを掛け、しかもレベルを変えたバックアップ録音もできるので、音割れの心配はない。

バックアップのために、演者とは離れたメインカメラ横にマイクを設置し、メインカメラに入れる。

ジンバル付きの小型カメラなども使って、古民家の外観、内装などを次々に撮る。

カメラも IC レコーダーも電源は使えないことを前提で、すべてバッテリーの運用。

営業用の撮影ではないので、あまり派手にしたくない、とは言っていたが、カメラ 4 台、マイク 4 台を設置したので、それなりに目立つ。しかも、マイクは設置されているが、どこからも音は出ないので、違和感もあるだろう。

お客さんも集まり、和気あいあいの中で本番を迎える。いつもよりも幾分、気楽な撮影だ。

演奏する場所は 雰囲気を出していて、けっこう暗い。ゲインを上げて対処する。簡単な照明でもあれば、多少は綺麗になったんだろう。

途中の休憩、お客さんが席につかないうちにトランペットが始まる。それが後半開始の合図だったのだが、面を食らった。カメラは引きにしておいたので、うまく対応ができた。

しかし、菅澤さんが見当たらない。開始してしばらくしても、まだ菅澤さんが姿を見せない。と思ったら、前半とは別の場所で撮影していた。こちらからは死角なだけだった。

菅澤さんのカメラはフリーだ。他の撮影でもそうなのだが、場所を移動して自由に撮影している。時にはステージ前に、時には舞台袖に。本番の時の菅澤さんの行動は読めない。

しかし、時折挿入される それらの映像が、菅澤さんの DVD を面白いものになっている。

自分の仕事は、とりあえず滞りなく終了。メモリカード全てを菅澤さんに渡す。

後日

メモリカードが郵送で返却されてきた。

マイクで録音された音を確認してみる。トランペットもピアノも、きちんと録れていて安心した。

マイクの音を混ぜる時には注意が必要だ。トランペットの音声ファイルにも、ピアノの音が少し入っているし、同様にピアノの音声にもトランペットの音が入っている。無造作に混ぜてしまうと、かえって音が悪くなる場合がある。

調整して、その設定を菅澤さんにアドバイスをする。

音響の条件が整ってない撮影だったが、十分に音声の対応ができたように思う。

以上